

出席：小佐野・石川・小西・三角・松村・高橋・堀之内・中江・坂本  
オブ参加：隈（全国理事）・渡部（27 期理事）

1. 理事交代，27 期役員選挙結果について

山中常任理事の辞任による塩谷常任理事への交代，神野・池田の前幹事から中江・坂本幹事への交代があり，紹介があった。

27 期役員選挙に関しては，選挙管理委員会から立候補推薦数が定員内であり，無投票当選であった旨の通知があった。役員交代は，理事会・総会をもって行う。

2. 海洋気象学会との例会運営について

役員交代などで近畿地区例会運営の経緯が不明になったことで，改めて双方の理事会等での確認し文書交換等の予定である。その骨子は，海洋気象学会と気象学会関西支部の共催とする，隔年で主運営（主会計負担）する，今年度（2007 年 2 月頃開催）は気象学会関西支部側が主運営する，その他詳細は協議する，である。

3. 支部会員の種別化

既に本部では種別化を実施している。関西支部では，総会での承認事項ではないが重点事項でありアナウンスする必要はあるということで 2006 年度総会において提案し，今年度から関西支部の会員種別化を実施する。各個人の種別は本部会員種別をそのまま採用する。会員種別変更は本部方式を準用する。

支部会員種別化は支部規約の変更を行うことなく実施できること，今回の総会案内は種別化を採用せず支部全会員へ案内を送付する。今回の総会案内では，関西支部ニュース WEB 化や種別化案については特に重点的に広報する。

4. 2006 年度理事会・総会・年会・地区例会・講演会について

総会は，6 月 17 日に開催する。理事会は総会当日の午前に，年会は総会直後に開催する。年会座長は決定済み，総会議長候補は選定しておく必要がある。時間的にきついで，時間厳守を確認した。昨年度に引き続き年会の発表件数が多く，開催形式の検討も必要との意見があったが，これ自体は好ましいことと評された。

地区例会開催予定は各地区理事からの連絡待ちであることが報告された。

5. 2005 年度事業報告（案）・決算報告（案）・2006 年度事業報告案・予算案について

それぞれの案について討議し，基本的に原案のとおりとした。一部でわかりづらい等の意見があり，修正後に会計監査を経て理事会総会に提出する。支部ニュースの WEB 化などによる経費削減により，経費削減予定は着実であるとの評価である。

6. 2006 年度調査研究奨励金及び研究グループ助成金の授与について

岡山理科大大橋氏から申請のあった研究グループ助成金は，15 万円で許可する。調査研究奨励金の申請は無い旨の報告があった。

研究グループ助成金の意味合いについて検討され，廃止すべきとの意見が大勢であった。研究グループ助成金の発端や必要性を聴取し，早々に検討する。廃止であれば，2007 年 3 月ごろの募集は取りやめる。また，調査研究奨励金の充実を検討する。

7. 第 28 回夏季大学について

8 月 3 日 4 日に第 28 回夏季大学を開催する。後援団体として，大阪管区气象台と日本気象協会関西支社に依頼する件を検討した。

テーマは「大規模な流れから局地的な流れまで」で，さまざまなスケールの気象現象の関連を解説する。一部講座の題目が硬すぎるので，一般的であるように修正を依頼された。

開催までのスケジュール，収支予定が提起された．昨年総会での「夏季大学の広報を教育委員会経由ではどうか」という意見に対して，昨年度の府教育委員会の対応が好感であったが広報時期が遅くて広報がいきわたらなかつた反省材料がある．今年度は早めの広報を行う予定である．